

令和2年度 第1回練馬区在宅療養推進協議会 認知症専門部会 要点録

1 日時	令和2年5月21日（木）書面開催
2 場所	書面開催
3 出席者	<p>&lt;委員&gt;</p> <p>出席者：吉岡委員（部会長）、古田委員、高橋委員、田邊委員、塚本委員、斎藤委員、大嶋委員、鶴浦委員、油山委員、志寒委員、神野委員、山田委員、芹澤委員、今井委員、屋澤委員（高齢者支援課長）、浜崎委員（高齢社会対策課長）、風間委員（介護保険課長）、高橋委員（地域医療課長）</p> <p>&lt;事務局&gt;</p> <p>高齢者支援課</p>
4 公開の可否	公開
5 傍聴者	書面開催のため傍聴者なし
6 次第	<p>1 報告</p> <p>（1）令和元年度在宅療養推進事業実施結果について</p> <p>（2）令和2年度在宅療養推進事業スケジュールについて</p> <p>（3）本人ミーティング・ワーキンググループ報告書について</p> <p>（4）認知症ガイドブック改訂2版について</p> <p>2 議題</p> <p>第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定に向けて</p>
7 資料	<p>次第</p> <p>資料1 令和元年度在宅療養推進事業実施結果</p> <p>資料2 令和2年度在宅療養推進事業スケジュール</p> <p>資料3 本人ミーティング・ワーキンググループ（報告書）</p> <p>資料3ー参考 本人ミーティング・ワーキンググループ（中間報告）</p> <p>資料4 認知症ガイドブック改訂2版</p> <p>資料5 第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定に向けて</p> <p>参考1 練馬区在宅療養推進事業（令和元年度～令和2年度）</p>

練馬区 高齢者施策担当部 高齢者支援課 在宅療養係

電話 03-5984-4597

## 会議の概要

### 1－(2) 令和2年度在宅療養推進事業スケジュールについて

#### 【資料2 令和2年度在宅療養推進事業スケジュール】

カテゴリ	ご意見・ご質問	回答	所管
公開講座・事例検討会	コロナ問題のため、公開講座・事例検討会などは、3密を避けて、場所や参加人数の工夫をした方がよいと思う。 事例検討会ではいつも大変参考になる意見がでるので、傍聴席を設けるなどで多くの方が参加できるとよいと思う。	公開講座・事例検討会などは、「新型コロナウイルス感染症に対する練馬区方針」を遵守しつつ、多くの方にご参加いただけるよう工夫して開催します。	高齢者支援課

### 1－(3) 本人ミーティング・ワーキンググループ報告書について

#### 【資料3 本人ミーティング・ワーキンググループ（報告書）】

カテゴリ	ご意見・ご質問	回答	所管
本人ミーティング	本人ミーティングや家族会、認知症カフェ等の場の周知として、公共の施設以外にも、クリニックや薬局の待ち合い室やスーパーや駅など、利用してもよいと思う。	事業内容に合わせて、広く事業周知をできるよう検討していきます。	高齢者支援課
本人ミーティング	課題に認知症予防の取組が入っています。三次予防のことだとしても、認知症施策推進大綱策定時でも数値目標の設定にて、当事者の会から反発がありました。本人ミーティングで、ご本人の口から「私は認知症（三次）予防がしたい」と意見があったとのことでしょうか？もしそうであっても三次予防と明記した方がよいのではないのでしょうか。	認知症になっても安心して暮らせる地域づくりと併せて、認知症になっても進行を緩やかにするための取組みが重要と考えています。具体的な取組みについては、今後検討していきます。	高齢者支援課

1 - (4) 認知症ガイドブック改訂2版について

【資料4 認知症ガイドブック改訂2版】

カテゴリ	ご意見・ご質問	回答	所管
認知症ガイドブック	認知症ガイドブックの配布を地域包括支援センターの他にスーパーやコンビニ、駅など多くの人が訪れる場所を入れるとよいと思う。	認知症への対応は、広く啓発していく必要があります。現在、認知症ガイドブックは、地域包括支援センターの窓口で、専門職によりサービス等を説明しながらお渡ししています。スーパーやコンビニ等での啓発について、今後検討してまいります。	高齢者支援課
認知症ガイドブック	内容についてではなく、この冊子を示しながら説明をする時に、「認知症になっても大丈夫！」という気持ちを持って進める。「私達が支えます」と共に、本人からも自分のこととして、気づく症状、困ったこと、悩み・心配・不安……なことを発してもらえようとする必要があります。説明する側の姿勢・テクニックがいりませぬ。	区は、本人ミーティング等の取組みを通じ、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを進めています。併せて、専門職のスキルアップについても取り組んでまいります。	高齢者支援課

2 第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定に向けて

【資料5 第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定に向けて】

カテゴリ	ご意見・ご質問	回答	所管
認知症の早期発見、早期治療につなげるための相談支援体制	認知症早期発見のため、特にMC I 早期発見が重要だと思います。練馬区で年1回実施している後期高齢者健康検診は多くの区民の方が受けている。その項目にMC I スクリーニング項目を追加して良いと思う(毎年で無くとも)。意識付けにも効果があるのではないのでしょうか。	認知症の早期発見、早期治療につなげるための検査・受診環境の整備に向けて検討していきます。	高齢者支援課
認知症の早期発見、早期治療につなげるための相談支援体制	認知症の早期発見、早期治療につなげるためには、高齢者の運転免許更新講習時に認知機能検査が必須項目であるように、後期高齢者健康診査の診査項目に、長谷川式スケールやMMS Eを加えるなどの少々強制的な促しも必要になるのかも知れないと考えます。	認知症の早期発見、早期治療につなげるための検査・受診環境の整備に向けて検討していきます。	高齢者支援課

<p>認知症の早期発見、早期治療につなげるための相談支援体制</p>	<p>認知症初期集中支援会議に本人や家族への相談機能(特に家族)があれば、良いと思うケースがある。また、地域包括では発見段階ですでにセルフネグレクトに近い生活実態を呈しているケースもままあり、その場合受診そのものが本人の拒否などにより、困難なことがある。医師によるアウトリーチの仕組みや、地域包括をフォローしていただける地域包括サポート医のような体制があれば、従事する立場として心強い。</p>	<p>医師によるアウトリーチの仕組み等、地域包括支援センターをフォローする体制を今後検討していきます。</p>	<p>高齢者支援課</p>
<p>認知症とともに希望をもって生活できる地域づくり</p>	<p>認知症サポーターの更なる養成とサポーターの活用は進めるべきだと思う。公共施設の職員・駅員・コンビニスタッフ・ショップ店員・学校のPTAなど、サポーターの幅を広げるとよいと思う。</p>	<p>引続き、認知症サポーターの拡充を進めるとともに、認知症サポーターにご活躍いただける仕組みについて検討を進めてまいります。</p>	<p>高齢者支援課</p>
<p>認知症とともに希望をもって生活できる地域づくり</p>	<p>区主催のサポーター養成講座の講師をすると、毎回、参加者からは、「良かった」だけではなく、何かの役にたてたら、という声が聞かれます。ステップアップ講座やサポーターの活用につながる資料なども当日渡せるようにしておくと良いかと思えます。</p>	<p>認知症サポーターの方がボランティアとして活動している例もあります。引続き、認知症サポーターの拡充を進めるとともに、認知症サポーターにご活躍いただける仕組みについて検討を進めてまいります。</p>	<p>高齢者支援課</p>
<p>認知症とともに希望をもって生活できる地域づくり</p>	<p>町会や老人会も加入者数の減少や高齢化が進み、これまでの活動継続が厳しくなりつつあると感じる。町会や老人会を人的にも金銭的にももう少しサポートしてあげて欲しい。</p>	<p>区では、老人クラブへの助成金交付や結成相談をはじめ地域団体への様々な支援を行っています。いただいたご意見は、関係部署に伝えます。</p>	<p>高齢者支援課</p>
<p>認知症とともに希望をもって生活できる地域づくり</p>	<p>認知症予防に関して、これまで想定していなかった感染症の流行により、感染防止の為に長期間在宅で過ごす機会が多くなり、ひきこもりや人との接触が減少、運動不足など認知症の方にとっては好ましくない影響が今後みられると思えます。三密を避けた在宅でも可能な認知症予防について、より積極的に啓蒙してゆく必要があるかと思えます。例えば家族の協力も得てインターネット</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図りつつ、介護予防の取組を推進することは重要であると認識しています。「新型コロナウイルス感染症に対する練馬区方針」に従い、はつらつセンターや街かどケアカフェなど再開します。各圏域の医療と介護の窓口連絡会等でも取組事例について、情報共有を図ります。</p>	<p>高齢者支援課</p>

	(ZOOM)を活用したオレンジネットカフェ座談会の開催とか、或いは他所での取組の好事例を収集しつつ、なるべく急いで紹介してゆく必要があるのではないかと思います。		
認知症とともに希望をもって生活できる地域づくり	課題について。認知症への偏見や忌避感がどの課題にも影響していることと思います。偏見があるから、早期発見も尻込みし、他人ごとから自分ごとを受け止められないし、家族も自身の持つ偏見や周囲の目に苦しめられる。偏見の払拭と本人の情報発信支援、希望の持てるビジョンの提供が大きな目標となると思います。	認知症サポーター養成講座等を通じて認知症に対する理解普及を継続します。また、本人の情報発信支援、希望の持てるビジョンの提供に向けて本人ミーティングを実施します。	高齢者支援課
認知症高齢者本人や家族の安心・安全を確保	高齢者ドライバーについて、運転免許証を自主返納した後も外出に困らないよう、バスやタクシーなど高齢者向けの交通手段を充実させるとよいと思う。	高齢者の外出手段については、地域ケア会議の場を活用して地域の方や区交通所管部署と協議してまいります。	高齢者支援課
介護の不安を軽減できる家族介護者支援	認知症を介護されているご家族から、外出してトラブルを起こすと損害賠償が多額になると不安を抱えている話を聞きます。安心して外出し、地域での生活が維持できるよう、公的な補償を創設していただきたいと思いません。	認知症高齢者本人や家族の介護の不安を軽減できる家族介護者支援について検討していきます。	高齢者支援課
介護の不安を軽減できる家族介護者支援	今回の新型コロナウイルスの流行にあたり、在宅で介護する人達へのサポートとして、オンライン化を進めることが早急に必要です。専門家会議もオンラインで進めることができ、施設、ヘルパー、家族等との連携も可能になります。	引続き、在宅介護を担う方への支援について検討していきます。	高齢者支援課
介護の不安を軽減できる家族介護者支援	区としては、ぜひ持っていない家庭へタブレットの貸出しとITの専門(技術)家も入れて、オンラインで介護の一翼を担うことが必要となります。ぜひ進めて下さい。在宅介護のオンライン化を。	引続き、在宅介護を担う方への支援について検討していきます。	高齢者支援課

介護の不安を軽減できる家族介護者支援	認知症高齢者は、今回の新型コロナウイルス対策対応や、昨今の異常気象災害や天災などにおいては「災害弱者」であることを日頃より広く周知する必要があると考えます。	区は一定の要件の方を自動で「避難行動要支援者名簿」に登録させていただくほか、その他の準ずる方も希望により名簿に登録します。周知について今後も検討してまいります。	高齢者支援課
--------------------	--	--	--------